

2019年 日本スーパーラリーシリーズ 第1戦
2019年 JAF 全日本ラリー選手権第1戦
ラリー オブ 嬭恋

全日本ラリー選手権

Driver's Comments #5

LEG 3

2019年2月3日

At TC18A (End of the Rally)

Car#	Class	Driver	Comments
11	JN1	新井 敏弘 (Winner)	あまり気分の良い勝ち方ではないですが、みんなそれぞれスピンしているから仕方ないですね。 難しいラリーでしたね。最後のSS(SS18門貝パノラマ))とその前のSS (SS17愛妻の丘)は結構はまったし、土手のほうまで乗り上げたりと、いろいろしました難しいことは難しいですね、次は(新城ラリー)、嫌いなターマックを頑張らなきゃなりませんね。
12	JN1	勝田 範彦 (3 rd)	難しいラリーでしたね。2年前に出たときはもっと雪が多くてもっと走りやすかったイメージがあるのですが、今年は路面状況も変わって、すごく難しかったですね。次は地元の新城ラリー、挽回します。
13	JN1	鎌田 卓麻 (2 nd)	(SS17)愛妻(の丘)の2kmくらいのところで、ちょっとインカットしたらイン側のタイヤハウスの中に雪が入ってきて、ハンドルが効かなくなってしまって、ステアリングがロックしたような状態になってしまって、スピンして、Uターンするにもハンドルが動かなくて、何回かやっているうちに40秒くらいロスしてしまいました。ついていないです。次は唐津ですね。
20	JN2	眞貝 知志 (Winner)	リスキーなラリーでちゃんと完走できましたし、タイム的にも決して恥ずかしいタイムではなかったもので、ちゃんとやってきて良かったな、と思います。色々なコンディションを走り、経験値がたまりましたね。ちゃんとした雪のコンディションからシャーベットも混じって、今日はゆっくり走れる状況に持って行けて良かったです。秒差の勝負だったら今日は危なかったかもしれません。
25	JN3	筒井 克彦 (Winner)	初日で20分近いリードを築いたので、ステディーに行こうと、ひたすら飛び出さないように、後ろに追いつかれたら危ないので、それだけを気を付けて走りました。 ツルツルな路面で、止まりそうになったことも何回もありました。普通に走っていても上らないところが多くて、神経を使いました。でも良かったです。
30	JN4	山口 貴利 (Winner)	結構タフなラリーだったのかもしれませんが。道のほうも大変で。でも楽しく走れました。自分にとってもプラスになったラリーでした。前回、東日本選手権の御岳を走った時に、フロントの脚に違和感を感じて、今回はバネをだいが柔らかい物に換えたのですが、それが当たっていたのが良かったです。

31	JN4	古川 寛 (2 nd)	厳しいラリーでしたね。同じ道でも日替わりで路面は変わるし、毎日試練でした。タイヤ交換が一番の試練でしたね。九州の人間にはこんなことはまずないですね。学ぶべきことがいっぱいある、ということが分かったので、前向きにとらえれば、良かったかな、と思っています。
33	JN4	西川 真太郎 (3 rd)	チェーンが切れたりしてしまっていて、慌てたところもあったのですが、当初の予定通り完走を果たせたので良かったと思っています。
35	JN5	天野 智之 (1 st)	耐えられず、スピンの回数が多かったですね。孺恋って去年・一昨年と2輪駆動のトップを獲っていたのですが、今回は眞貝選手に届きませんでした。最初は頑張っていたのですが、スピンが多くて、最終的には大倉選手にも逆転されてしまって、総合順位で二輪駆動の三番目になってしまいました。去年までのクラス分け(旧 JN3 クラス)では2位だったので、微妙な感じですね。敗因としては、今日で3回、昨日で2回のスピンですね。チェーンが切れたのはさほどのタイムロスではなかったのですが、スピンはそこだけで何十秒も止まってしまうので、ちょっときつかったですね。でもデイポイントもぎりぎり獲れました。去年より滑りやすかったのに対して、ちょっとバネが固かったのかな、と思いました。去年より固いバネで来たんです。
40	JN5	権田 哲也 (3 rd)	非常に難しいコンディションでしたが、ミスなく走るという目標は達成できたので良かったと思います。
41	JN6	大倉 聡 (1 st)	難しいラリーでしたね。舗装が(出ているところが)多くて、タイヤやチェーンを色々試してもらって、サービスにはいろいろと無理を言って、ダンロップさんには相談に乗っていただいて、大きくタイヤマネジメントを変えてみたのですが、それが結構うまく当たりました。いいところも悪いところもあるのですが、トータル的にとても勉強になりました。
42	JN6	清水 和夫 (3 rd)	もうこの二人(大倉選手・クロエリ選手)むちゃくちゃ速いですよ。CVTはもう3年目なので、2ペダルのレーシングカーみたいなものですよ。昔ラリーもやっていたので自負があったけれど、昔は四駆でスパイクタイヤだったので、あまり圧雪とかアイスバーンとかの差を感じずに走っていたんですよ。それが逆に2輪駆動のスタッドレスだと、路面の使い方とかを考えますね。チェーンは切れてしまったし、走り方も今はみんなFFもテールをめくるようにしてオーバーステアで入ってくるでしょう。もっとテールを流して、雪の壁に頭ではなくてテールを当てるようなセッティングにしなければダメですね。
43	JN6	クロエリ (2 nd)	色々な路面を経験できました。全日本ラリーの初挑戦がこのラリー、かなりタフだし、私は群馬県民なので群馬のプレッシャーもありました。たくさんの方に応援していただいたので、期待に応えられたらいいなと思ったのですが、思った以上に良くできました。初戦で表彰台は嬉しいですが、デビューウインを逃したのは非常に悔しいです。さすがにあの差はどうにもなりません。